

令和 6 年度

# 工 事 設 計 仕 様 書

1 工 事 名 新河岸第12-2-1污水管渠築造工事

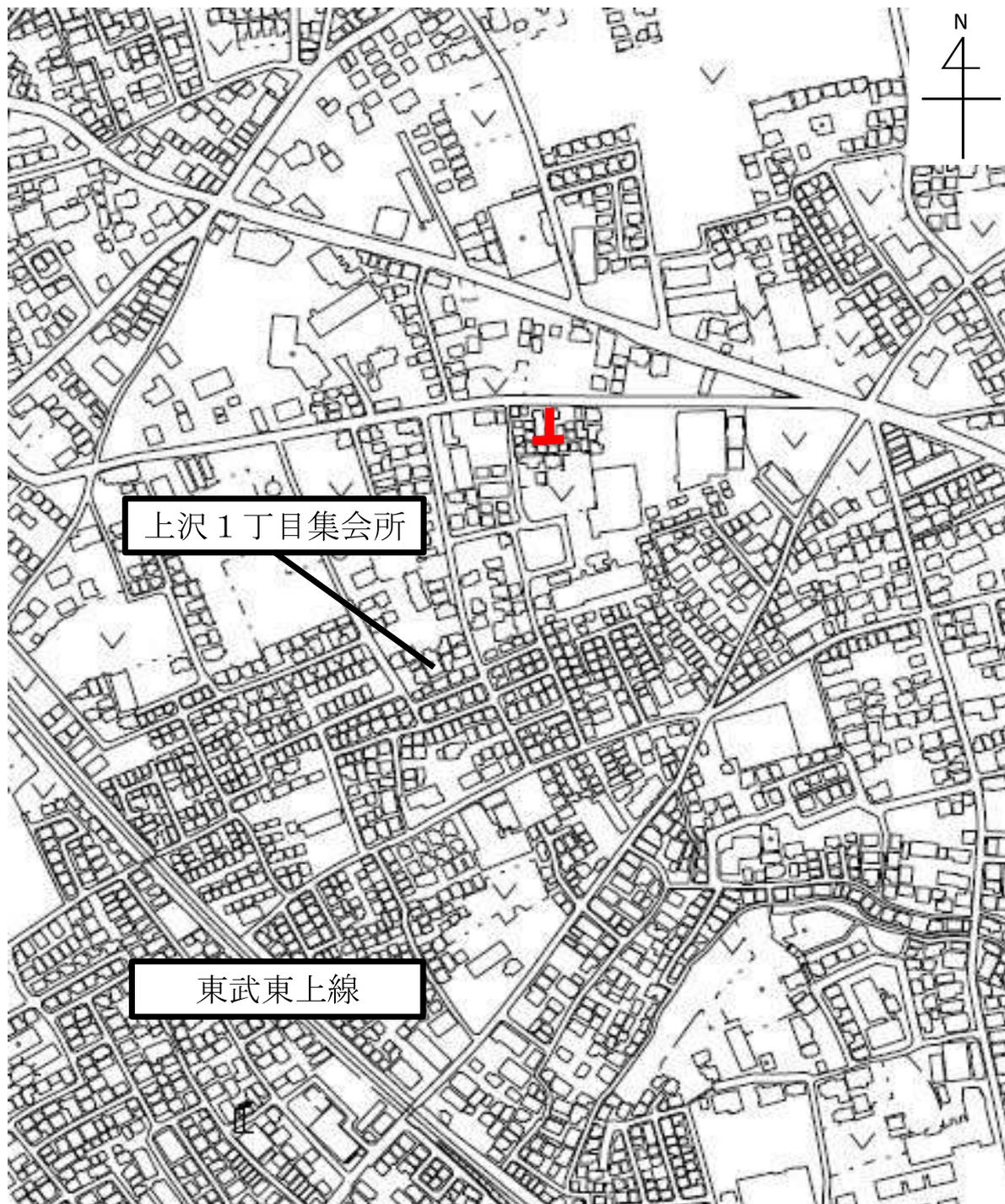
2 工事箇所 富士見市上沢1丁目地内 私道

## 工事大要

変更工事 の 大 要	
工 事 の 大 要	内径200mm(VU)管布設工 L=38.40m 楕円組立マンホール設置工 1箇所 塩ビ小型マンホール設置工 2箇所 取付管布設工 1式 付帯工 1式

富 士 見 市

# 案内図



上沢1丁目集会所

東武東上線



工事箇所

## 施工条件明示書

工 事 名：新河岸第 12-2-1 污水管渠築造工事

施工場所：富士見市上沢 1 丁目地内 私有

### 【安全対策関係】

交通誘導員については下記のとおりとする。

- ・配置総数＝施工日数×1人/日

# 積算情報書

工事名	新河岸第12-2-1污水管渠築造工事
変更回数	
諸経費区分	公共 令和06年度
工種区分	下水道工事 (2)
単価摘要年月日	令和07年04月01日付 公共
単価地区	県南 (川越県土整備)
機損摘要年月日	令和06年10月以降摘要
歩掛摘要年月日	令和06年10月 公共、下水道
備考	施工地域：一般交通影響有り(2)-2

# 経費計算書

No.1

工事区分	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
下水道施設整備								
管路								
				1	式			
			管渠工(管径200mm)					
			開削工法(建込)	1	式			A-1
			管路土工	1	式			B-1
			管布設工	1	式			B-2
			管基礎工	1	式			B-3
			管路土留工	1	式			B-4
			マンホール工	1	式			A-2
			組立マンホール工	1	式			B-5
			小型マンホール工	1	式			B-6
			取付管工	1	式			A-3
			管路土工	1	式			B-7
			取付管布設工					
			VUφ150	1	式			B-8
			付帯工	1	式			A-4
			舗装撤去工	1	式			B-9
			道路復旧工	1	式			B-10
			既存構造物処理工	1	式			B-11
			交通誘導警備員	1	式			A-5
			安全管理費(仮設工)	1	式			B-12
			直接工事費	1	式			
			共通仮設費					
			率分	1	式			
			運搬費(仮設材運搬費)	1	式			
			技術管理費(土壌分析費)	1	式			



# 本 工 事 費 内 訳 書

No.1

工事区分	工種 種別 細別・規格	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
管渠工	管径200mm 硬質塩化ビニル管	1	式			A-1
管路土工		1	式			B-1
機械掘削工(小型バックホ)	バックホ 山0.13(平0.10)m <sup>3</sup> 排ガス対型(第2次基準値) [標準]	51.7	m <sup>3</sup>			第1号一位代価表
機械投入埋戻工(小型バックホ)	砂[1.26] バックホ 山0.13(平0.10)m <sup>3</sup> 排ガス対型(第2次基準値) [標準] 砂 再生	32.0	m <sup>3</sup>			第2号一位代価表
発生土運搬工(2t積級、BH山0.13(平0.10)m <sup>3</sup> )	D I D区間有り 0.5km以下 土 砂 良 好	50.5	m <sup>3</sup>			第3号一位代価表
積込(ルース)	土砂 土量50,000m <sup>3</sup> 未満	50.5	m <sup>3</sup>			第2号 施工パッケージ代価表
発生土処分工(機械積込み)	ダンプトラック10t積級 バックホ山0.80(平0.60)m <sup>3</sup> D I D区間有り 4.0km以下	50.5	m <sup>3</sup>			第4号一位代価表
管布設工		1	式			B-2
硬質塩化ビニル管設置工(材工共)	管径200mm 補正なし	36.4	m			
マンホール用可とう継手	拡張バンドタイプ 本管:塩ビ(VU)管 本管径200	3	個			
管基礎工		1	式			B-3

# 本 工 事 費 内 訳 書

No.2

工事区分	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
			砂基礎設置(機械施工)		m <sup>3</sup>			第6号一位代価表
			10m <sup>3</sup> 以上 時間的制約なし 昼間作業 基礎材を計上する 1.26m <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> (砂) 補正無し 砂 再生	12.0				
			管路土留工		式			B-4
				1				
			アルミ矢板建込工・引抜工(両側分)		m			第7号一位代価表
			2.0m以下 ハック柄 山0.13(平0.10)m <sup>3</sup> 排ガス対型(第2次基準値) [標準]ト ラックレン 油圧伸縮シブ型 4.9t吊	13.2				
			軽量金属支保工 設置・撤去 (手間のみ)		m			第8号一位代価表
			1段(2.0m以下) 水圧式パイプサポ ート	13.2				
			アルミ矢板賃料		式			
				1				
			軽量金属支保工賃料		式			
				1				
			マンホール工		式			A-2
				1				
			組立マンホール工		式			B-5
				1				
			楕円組立マンホール		箇所			第9号一位代価表
				1				
			小型マンホール工		式			B-6
				1				
			塩ビ小型マンホール		箇所			第12号一位代価表
				2				

# 本 工 事 費 内 訳 書

No.3

工事区分	工種 種別 細別・規格	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
取付管工		1	式			A-3
管路土工		1	式			B-7
機械掘削工(小型バックホ)		6.1	m3			第1号一位代価表
	バックホ 山0.13(平0.10)m3 排ガス対型(第2次基準値) [標準]					
機械投入埋戻工(小型バックホ)		5.0	m3			第2号一位代価表
	砂[1.26] バックホ 山0.13(平0.10)m3 排ガス対型(第2次基準値) [標準] 砂 再生					
発生土運搬工(2t積級、BH山0.13(平0.10)m3)		5.9	m3			第3号一位代価表
	D I D区間有り 0.5km以下 土 砂 良好					
積込(ルース)		5.9	m3			第2号 施工パッケージ代価表
	土砂 土量50,000m3未満					
発生土処分工(機械積込み)		5.9	m3			第4号一位代価表
	ダンプトラック10t積級 バックホ山0.80(平0.60)m3 D I D区間有り 4.0km以下					
取付管布設工		1	式			B-8
取付管布設工および支管取付工		9	箇所			第15号一位代価表
	管径 150mm 5箇所以上 時間的制約なし 昼間作業 取付管長 3m未満 コンクリート製・陶製以外					
付帯工		1	式			A-4
舗装撤去工		1	式			B-9

# 本 工 事 費 内 訳 書

No.4

工事区分	工種	種別	細別・規格	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
			舗装版切断		m			第4号 施工パッケージ代価表
			アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	41.9				
			アスファルト切断濁水処分費		m3			
			中間処理後、最終処分場に搬入[焼却又は溶融含まず]	0.05				
			アスファルト切断濁水運搬費		台			
			積載量2t 運搬距離 10kmまで	1				
			舗装版破碎		m2			第5号 施工パッケージ代価表
			アスファルト舗装版 無し 不要 15cm以下 有り 全ての費用	18.7				
			殻運搬		m3			第6号 施工パッケージ代価表
			舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下) 有り 6.0km以下 全ての費用	0.9				
			廃材持込料		m3			
			区分 川越県土整備事務所 適用区分 As廃材	0.9				
			道路復旧工		式			B-10
				1				
			下層路盤(歩道部)		m2			第7号 施工パッケージ代価表
			1層施工 150mm 再生クラッシャーラン RC-40 全ての費用	18.7				
			上層路盤(歩道部)		m2			第8号 施工パッケージ代価表
			1層施工 120mm 再生粒度調整碎石 RM-40 全ての費用	18.7				
			上層路盤(歩道部)		m2			第9号 施工パッケージ代価表
			1層施工 100mm 再生粒度調整碎石 RM-30 全ての費用	6.7				
			表層(車道・路肩部)		m2			第10号 施工パッケージ代価表
			1.4m未満 30mm アスファルト混合物 開粒度アスコン(13) アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 全て	18.7				

# 本 工 事 費 内 訳 書

No.5

工事区分	工種 種別 細別・規格	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
	機械投入埋戻工(小型バックホウ)		m3			第16号一位代価表
	砂質土(普通土)[1.33]バックホウ山 0.13(平0.10)m3 排ガス対型(第2次基 準値) [標準] 砂 再生	1.3				
	既存構造物処理工		式			B-11
		1				
	側溝蓋撤去・設置		枚			第17号一位代価表
	40kg以上80kg以下	2				
	側溝蓋撤去・設置		枚			第17号一位代価表
	40kg以上80kg以下	21				
	交通誘導警備員		式			A-5
		1				
	安全管理費		式			B-12
		1				
	交通誘導警備員B		人			
	直接工事費計		式			
		1				
	運搬費計		式			
		1				
	仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工 板、敷鉄板等)の運搬		t			第18号一位代価表
	条件から算出 10km 12m以内 1 輸送 費のみ 無	0.4				
	仮設材等の積込み、取卸し費		t			第19号一位代価表
	積込み、取卸し(往復分)	0.4				



第1号一位代価表 機械掘削工(小型バックホ)

バックホ 山0.13(平0.10)m3 排ガス対型(第2次基準値) [標準]

100 m3 当たり

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ 山0.13(平0.10)m3(排2次)		日			第1号施工表 100m3/ m3/日
諸雑費 (まるめ)		式			
	1				
合計					
1m3当り					

第2号一位代価表 機械投入埋戻工(小型バックホ)

砂[1.26] バックホ 山0.13(平0.10)m3 排ガス対型(第2次基準値) [標準] 砂 再生

100 m3 当たり

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
砂		m3			100×(1.20/0.95)
再生	126				
バックホ 山0.13(平0.10)m3(排2次)		日			第1号施工表 100m3/ m3/日
タパ° 締固め		m3			第1号 施工パッケージ代価表
全ての費用	100				
諸雑費		式			
(まるめ)	1				
合計					
1m3当り					

第3号一位代価表 発生土運搬工(2 t 積級、BH山0.13(平0.10)m3)

D I D 区間有り 0.5km以下 土 砂 良 好

10 m3 当たり

名称 / 規格	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック 2 t 積級		日			第2号施工表
合計					
1m3当り					



第5号一位代価表 発生土運搬工(10 t 積級、機械積込)

100 m3 当たり

名称 / 規格	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック 10 t 積級		日			第3号施工表
諸雑費		式			
(まるめ)	1				
合計					
1m3当り					



第7号一位代価表 アルミ板建込工・引抜工(両側分)

2.0m以下 ハックホ 山0.13(平0.10)m3 排ガス対型(第2次基準値) [標準]トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊

100 m 当たり

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人			建込み
特殊作業員		人			建込み
普通作業員		人			建込み
ハックホ 山0.13(平0.10)m3(排2次)		日			第1号施工表 建込み
土木一般世話役		人			引抜き
特殊作業員		人			引抜き
普通作業員		人			引抜き
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]		日			引抜き
4.9t吊					
諸雑費		式			
(まるめ)					
	1				
合計					
1m当り					

第8号一位代価表 軽量金属支保工 設置・撤去(手間のみ)

1段(2.0m以下) 水圧式パイプサポート

100 m 当たり

名称 / 規格	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費		式			
(まるめ)	1				
合計					
1m当り					

第9号一位代価表 楕円組立マンホール

1 箇所 当たり

名称 / 規格	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
人孔蓋及び口環		組			
T-14. φ600. 圧力開放型. 鍵付き蝶番付き	1				
口環変形防止用金具		組			
L=250mm M16	1				
無収縮剤		kg			
セメント系プレミックス 標準混和量 1875kg	19				
下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール		個			
マンホール付属品 調整リング 600mm×150mm JSWAS A-11	1				
組立式マンホール		個			
だ円形組立式マンホール 斜壁 上径600mm ×下幅(600×900)mm×高600mm	1				
組立式マンホール		個			
だ円形組立式マンホール 管取付け壁 下幅(600×900)mm×高900mm	1				
組立式マンホール		個			
だ円形組立式マンホール 底版 有効高 130	1				
楕円組立マンホール削孔費		箇所			0号適用
接続管種 塩ビ管 φ200	2				
底部工(組立式)		箇所			第10号一位代価表
楕円組立	1				
組立マンホール設置工(手間のみ)		箇所			
0号(内径750)または楕円 2m以下 補正なし	1				
合計					

第9号一位代価表 楢岡組立マンホール

1 箇所 当たり

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
1箇所当り					

第10号一位代価表 底部工(組立式)

橋脚組立

1 箇所 当たり

名称 / 規格	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
再生クラッシャーラン		m3			0.16 × (1 + 0.2)
RC-40	0.19				
インパートコンクリート工		m3			第3号 施工パッケージ代価表
無筋・鉄筋構造物 人力打設 生コンクリート 一般養生 有り	0.12				
モルタル上塗り		m2			第11号一位代価表
	0.64				
合計					
1箇所当り					

第11号一位代価表 モルタル上塗り

1 m<sup>2</sup> 当たり

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
左官		人			
普通作業員		人			
モルタル		m <sup>3</sup>			
1 : 2	0.02				
諸雑費		式			
(まるめ)	1				
合計					
1m <sup>2</sup> 当り					



第13号一位代価表 小型マンホール工(塩化ビニル製)

径 300mm 起点落差形式(KDR) 深さ2m以下 本管径150mm・  
200mm 5箇所未満

1 箇所 当たり

名称 / 規格	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
小型マンホール工(塩化ビニル製)(マンホール径300mm)(材工共)		箇所			(5箇所未満)
深さ2m以下本管径150mm. 200mm 補正なし	1				
小型マンホール工(塩化ビニル製) 起点落差形式		箇所			
加算額 深さ2m以下 本管径150mm・200mm	1				
铸铁製防護蓋設置費(手間のみ)		箇所			
(小型マンホール工) 補正なし	1				
人孔蓋及び口環		組			
T-14. φ400. 圧力開放型. 鍵付き蝶番付き	1				
合計					
1箇所当り					





第16号一位代価表 機械投入埋戻工(小型バックホ)

砂質土(普通土)[1.33] バックホ 山0.13(平0.10)m3 排カス  
対型(第2次基準値) [標準] 砂 再生

100 m3 当たり

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
発生土		m3			
	133				
バックホ 山0.13(平0.10)m3(排2次)		日			第1号施工表 100m3/ m3/日
クワ 締固め		m3			第1号 施工パッケージ代価表
全ての費用	100				
諸雑費		式			
(まるめ)	1				
合計					
1m3当り					







第1号施工表      ハックホウ 山0.13(平0.10)m3(排2次)

1日 当たり

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
運転手(特殊)		人			
軽油		L			
小型ハックホウ(ローラ型) [標準型・排対型(2次基準)]		供用日			
標準ハケット容量(山積0.13/平積0.10m3)					
諸雑費		式			
(まるめ)	1				
合計					
1日当り					

第2号施工表      ダンプトラック 2 t 積級

1 日 当たり

名称 / 規格	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
運転手 (一般)		人			
軽油		L			
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]		供用日			
2t積級					
タイヤ損料(ダンプ)		日			
2~3t 良好 タイヤ損料					
諸雑費		式			
(まるめ)					
	1				
合計					
1日当り					

第3号施工表      ダンプトラック 10t積級

1日 当たり

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
運転手 (一般)		人			
軽油		L			
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]		供用日			
10t積級					
タイヤ損料(ダンプ)		日			
10t 良好 タイヤ損料					
諸雑費		式			
(まるめ)	1				
合計					
1日当り					

第1号 施工パッケージ代価表

タンパ締固め 全ての費用		施工単価コード					積算単価 標準単価	m3 m3
	名 称	規 格	構成比	換算数量	単位	県南 令和07年04月01日 代表機材単価(東京R5.4)	補正情報	出典等
K			1.24%					
K1	タンパ及びランマ	質量 60~80kg	1.24%		日			
	タンパ及びランマ	質量60~80kg			日			
R			97.05%					
R1	特殊作業員		51.22%		人			
	特殊作業員				人			
R2	普通作業員		45.83%		人			
	普通作業員				人			
Z			1.71%					
Z1	ガソリン	レギュラー	1.71%		L			
	ガソリン	レギュラー スタンド			L			

第2号 施工パッケージ代価表

積込(ルース) 土砂 土量50,000m3未満		施工単価コード					積算単価 標準単価	m3 m3
	名 称	規 格	構成比	換算数量	単 位	県南 令和07年04月01日 代表機材単価(東京R5.4)	補正情報	出典等
K			43.43%					
K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(2014年規制)]	標準バケット容量(山積0.8/平積0.6m3)	43.43%		供用日 日			
	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(2014年規制)]	山積0.8m3(平積0.6m3)						
R			37.88%					
R1	運転手(特殊)		37.88%		人 人			
	運転手(特殊)							
Z			18.69%					
Z1	軽油		18.69%		L L			
	軽油 パトロール給油							

第3号 施工パッケージ代価表

インパクトコンクリート工 無筋・鉄筋構造物 人力打設 生コンクリート 18-8-25(20) 一般養生 有り						施工単価コード		積算単価	m3
						標準単価		m3	
	名 称	規 格	構成比	換算数量	単 位	県南 令和07年04月01日 代表機材単価(東京R5.4)	補正情報	出典等	
R			36.88%						
R1	普通作業員		21.7 %		人				
	普通作業員				人				
R2	特殊作業員		6.72%		人				
	特殊作業員				人				
R3	土木一般世話役		5.98%		人				
	土木一般世話役				人				
その他	その他(労務)		2.48%						
Z			63.12%						
Z1	生コンクリート	18-8-25(20)	63.12%		m3				
	生コンクリート 高炉	24-12-25(20) W/C 55%			m3				

第4号 施工パッケージ代価表

舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用		施工単価コード				積算単価 標準単価	m m	
	名 称	規 格	構成比	換算数量	単位	県南 令和07年04月01日 代表機労材単価(東京R5.4)	補正情報	出典等
K			15.42%					
K1	コンクリートカッタ[バキューム式(超低騒音型)・湿式]	切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.49%		供用日 日			
	コンクリートカッタ[バキューム式(超低騒音型)・湿式]	切削深20cm級 ブレード径φ56cm						
その他	その他(機械)		4.93%					
R			57.13%					
R1	特殊作業員		19.6 %		人 人			
	特殊作業員							
R2	土木一般世話役		10.55%		人 人			
	土木一般世話役							
R3	普通作業員		8.73%		人 人			
	普通作業員							
その他	その他(労務)		18.25%					
Z			27.45%					
Z1	コンクリートカッタ (ブレード)	径18インチ	23.29%		枚 枚			
	コンクリートカッタ (ブレード)	径18インチ						
Z2	ガソリン	レギュラー	2.83%		L L			
	ガソリン	レギュラー スタンド						
その他	その他(材料)		1.33%					

第5号 施工パッケージ代価表

舗装版破碎 アスファルト舗装版 無し 不要 15cm以下 有り 全ての費用		施工単価コード				積算単価 標準単価	m2 m2	
	名 称	規 格	構成比	換算数量	単 位	県南 令和07年04月01日 代表機材単価(東京R5.4)	補正情報	出典等
K			13.49%					
K1	バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型](超低騒音)(2011年基準)	山積0.45m3(平積0.35m3)	13.49%		日			
	バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型]	山積0.45m3(平積0.35m3)			日			
R			80.49%					
R1	土木一般世話役		28.91%		人			
	土木一般世話役				人			
R2	運転手(特殊)		27.69%		人			
	運転手(特殊)				人			
R3	普通作業員		23.89%		人			
	普通作業員				人			
Z			6.02%					
Z1	軽油		6.02%		L			
	軽油 パトロール給油				L			

第6号 施工パッケージ代価表

殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) 有り 6.0km以下 全ての費用						積算単価 標準単価	m3 m3	
	名 称	規 格	構成比	換算数量	単 位	県南 令和07年04月01日 代表機労材単価(東京R5.4)	補正情報	出典等
K			44.95%					
K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]	10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)	44.95%		供用日 日			
	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]	10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)						
R			38.97%					
R1	運転手(一般)		38.97%		人 人			
	運転手(一般)							
Z			16.08%					
Z1	軽油		16.08%		L L			
	軽油 パトロール給油							

第7号 施工パッケージ代価表

下層路盤(歩道部) 1層施工 150mm 再生クラッシャーラン RC-40 全ての費用			施工単価コード			積算単価 標準単価	m2 m2	
	名 称	規 格	構成比	換算数量	単位	県南 令和07年04月01日 代表機材単価(東京R5.4)	補正情報	出典等
K			5.62%					
K1	小型バックホウ(クローラ)[標準](排-2)	山積0.11m3(平積0.08m3)	2.91%		日			
	小型バックホウ(クローラ型)	山積0.11m3(平積0.08m3)			日			
K2	振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド式](排-1)	運転質量3~4t	2.55%		日			
	振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド式]	質量3~4t			日			
その他	その他(機械)		0.16%					
R			72.88%					
R1	普通作業員		30.5 %		人			
	普通作業員				人			
R2	運転手(特殊)		26.32%		人			
	運転手(特殊)				人			
R3	特殊作業員		13.94%		人			
	特殊作業員				人			
その他	その他(労務)		2.12%					
Z			21.5 %					
Z1	再生クラッシャーラン	RC-40	19.41%		m3			
	再生クラッシャーラン	RC-40			m3			
Z2	軽油		2.03%		L			
	軽油 バトロール給油				L			
その他	その他(材料)		0.06%					

第8号 施工パッケージ代価表

上層路盤(歩道部)		施工単価コード					積算単価	
1層施工 120mm 再生粒度調整碎石 RM-40 全ての費用							標準単価	m2 m2
	名 称	規 格	構成比	換算数量	単位	県南 令和07年04月01日 代表機労材単価(東京R5.4)	補正情報	出典等
K			5.2 %					
K1	小型バックホウ(クローラ)[標準](排-2)	山積0.11m3(平積0.08m3)	2.69%		日			
	小型バックホウ(クローラ型)	山積0.11m3(平積0.08m3)			日			
K2	振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド式](排-1)	運転質量3~4t	2.36%		日			
	振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド式]	質量3~4t			日			
その他	その他(機械)		0.15%					
R			67.43%					
R1	普通作業員		28.22%		人			
	普通作業員				人			
R2	運転手(特殊)		24.35%		人			
	運転手(特殊)				人			
R3	特殊作業員		12.9 %		人			
	特殊作業員				人			
その他	その他(労務)		1.96%					
Z			27.37%					
Z1	再生粒度調整碎石	RM-40	25.44%		m3			
	再生粒度調整碎石	RM-30			m3			
Z2	軽油		1.88%		L			
	軽油 バトロール給油				L			
その他	その他(材料)		0.05%					

第9号 施工パッケージ代価表

上層路盤(歩道部)		施工単価コード					積算単価	
1層施工 100mm 再生粒度調整碎石 RM-40 全ての費用							標準単価	m2 m2
	名 称	規 格	構成比	換算数量	単位	県南 令和07年04月01日 代表機労材単価(東京R5.4)	補正情報	出典等
K			5.2 %					
K1	小型バックホウ(クローラ)[標準](排-2)	山積0.11m3(平積0.08m3)	2.69%		日			
	小型バックホウ(クローラ型)	山積0.11m3(平積0.08m3)			日			
K2	振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド式](排-1)	運転質量3~4t	2.36%		日			
	振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド式]	質量3~4t			日			
その他	その他(機械)		0.15%					
R			67.43%					
R1	普通作業員		28.22%		人			
	普通作業員				人			
R2	運転手(特殊)		24.35%		人			
	運転手(特殊)				人			
R3	特殊作業員		12.9 %		人			
	特殊作業員				人			
その他	その他(労務)		1.96%					
Z			27.37%					
Z1	再生粒度調整碎石	RM-40	25.44%		m3			
	再生粒度調整碎石	RM-30			m3			
Z2	軽油		1.88%		L			
	軽油 バトロール給油				L			
その他	その他(材料)		0.05%					

第10号 施工パッケージ代価表

表層(車道・路肩部)		施工単価コード				積算単価		
1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 30mm アスファルト混合物 開粒度アスコン(13) アスファルト乳剤						標準単価	m2 m2	
PK-3 プライムコート用 全ての費用								
	名 称	規 格	構成比	換算数量	単位	県南 令和07年04月01日 代表機材単価(東京R5.4)	補正情報	出典等
K			0.48%					
K1	振動ローラ(舗装用)[ハンドガイド式]	運転質量0.5~0.6t	0.26%		供用日 日			
	振動ローラ(舗装用)[ハンドガイド式]	運転質量0.5~0.6t						
K2	振動コンパクタ[前進型]	機械質量40~60kg	0.15%		供用日 日			
	振動コンパクタ[前進型]	機械質量40~60kg						
その他	その他(機械)		0.07%					
R			46.75%					
R1	特殊作業員		20.68%		人			
	特殊作業員							
R2	普通作業員		14.81%		人			
	普通作業員							
R3	土木一般世話役		4.47%		人			
	土木一般世話役							
その他	その他(労務)		6.79%					
Z			52.77%					
Z1	アスファルト混合物	開粒度アスコン(13)	47.5 %		t t			
	開粒度アスコン(13)							
Z2	アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	5.02%		L L			
	アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用						
Z3	ガソリン	レギュラー	0.18%		L L			
	ガソリン	レギュラー スタンド						
Z4	軽油		0.04%		L L			
	軽油	パトロール給油						
その他	その他(材料)		0.03%					

令和7年度

新河岸第12-2-1污水管渠築造工事

数量計算書

上沢1丁目地内 私道

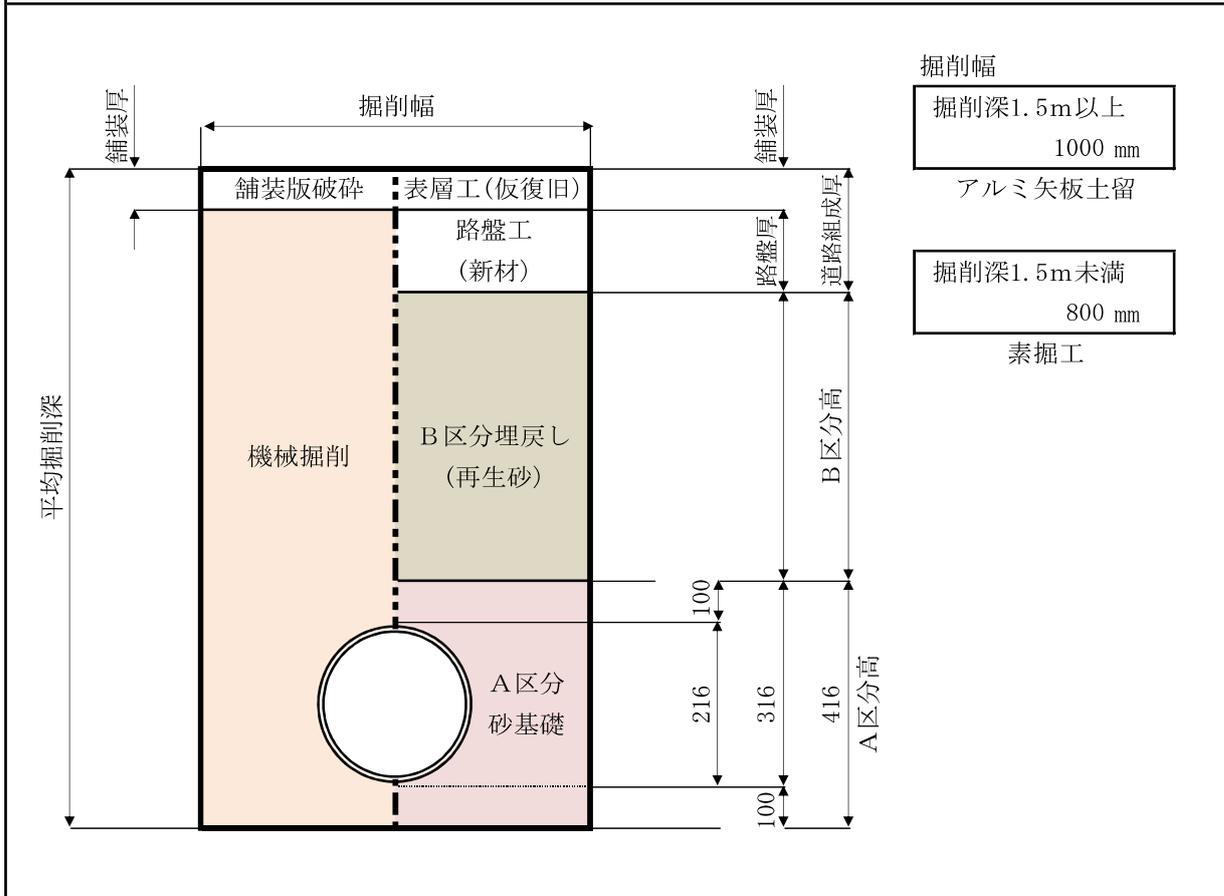
## 目 次

1. 管渠工（開削、管径 200mm）	—————	P- 1
2. マンホール工		
楢円組立マンホール工	—————	P- 5
塩ビ小型マンホール工	—————	P- 9
3. 取 付 管 工	—————	P-11
4. 付 帯 工	—————	P-24
舗装復旧工調書	—————	P-25
既存構造物処理工	—————	P-26

管渠工 内径200mm管渠布設工集計表 (VU)

項目	規格	単位	数量	適要
路線延長		m	38.40	
管体延長		m	36.41	
基礎延長		m	36.96	
管材料	硬質塩化ビニル管 (JSWAS K-1)			
	ゴム輪受口 L=4.0m	本	9.1	
"	マンホール用可とう継手			
	拡張型 VUφ200用	個	3	
機械掘削				
	バックホφ0.10m3級	m3	51.7	
管基礎工	砂基礎 (材工共)			
	バックホφ0.10m3級, タンパ	m3	12.0	
埋戻工	B区分 (再生砂)			
	バックホφ0.10m3級, タンパ	m3	32.0	
発生土処理	10tタンブ 運搬処理 (仮置含む)			2tタンブ (仮置)
	バックホφ0.60m3級積込	m3	50.5	BH0.10m3 掘削 発生土ー表層 (発生土) 51.65-1.16=
土留工	素堀工	m	25.20	掘削深1.5m未満
	アルミ矢板土留			
"	L=2.0m, 1段梁	m	13.20	掘削深2.0m以下
	アルミ矢板土留			
"	L=2.5m, 1段梁	m		"
	アルミ矢板土留			
"	L=2.5m, 2段梁	m		掘削深2.5m以下
	アルミ矢板土留			
"	L=3.0m, 2段梁	m		"
	アルミ矢板土留			
"	L=3.0m, 2段梁	m		掘削深3.0m以下
	アルミ矢板土留			

## 土工定規図 (VUφ200)



工 種	算 出 根 拠	定 数 値
機械掘削 バックホウ0.10m3級	$= \text{掘削幅} \times (\text{平均掘削深} - \text{舗装厚}) \times \text{掘削延長}$	
	管断面積： $0.216^2 \times \pi / 4 = 0.037$	
砂基礎(A区分) (再生砂)	$= (\text{掘削幅} \times \text{A区分高} - \text{管断面積}) \times \text{基礎延長}$	
B区分埋戻 (再生砂)	$= \text{掘削幅} \times \text{B区分高} (\text{平均掘削深} - \text{A区分} - \text{復旧厚}) \times \text{掘削延長}$	
発生土処理	$= \text{掘削土量} - \text{発生土埋戻土量}$	
(掘削土)	受入地処分(2tダンプ仮置運搬・10tダンプ処理運搬)	

# 内径200mm管渠布設工調書 (VUφ200)

管断面  
0.037m<sup>2</sup>/m

路線番号		単位	定数值	私道1 No.私道1-1 ~ 舗装境	舗装境 ~ No.私道3-1	私道2 No.私道2-1 ~ 舗装境	舗装境 ~ No.私道3-1	私道3 No.私道3-1 ~ 既設No.私道4-1	合計
測点									
路線延長		m		6.47	0.73	14.50	3.50	13.20	38.40
掘削減長	上流	m							
	下流	m							
掘削延長		m		6.47	0.73	14.50	3.50	13.20	38.40
人孔種別	上流			小型塩ビ	舗装境	小型塩ビ	舗装境	楕円	
	下流			舗装境	楕円	舗装境	楕円	小型塩ビ	
管体減長	上流	m		0.290		0.290		0.335	
	下流	m			0.450		0.450	0.180	
管体延長		m		6.18	0.28	14.21	3.05	12.69	36.41
管材料(VU)		木	4.0 m/本	1.55	0.07	3.55	0.76	3.17	9.10
可とう継手(VU用)		個			1		1	1	3
基礎減長	上流	m		-0.290		-0.290		0.075	
	下流	m			0.075		0.075	-0.180	
基礎延長		m		6.47	0.21	14.50	2.98	12.80	36.96
道路形態				砂利道	私道舗装道	未舗装	私道舗装道	私道舗装道	
掘削深	上流	m		1.358	1.358	1.358	1.358	1.743	
	下流	m		1.414	1.414	1.558	1.558	1.819	
平均掘削深		m		1.386	1.386	1.458	1.458	1.781	
掘削幅		m		0.80	0.80	0.80	0.80	1.00	
舗装厚		m			0.05		0.05	0.05	
路盤厚		m			0.25		0.25	0.25	
道路復旧厚		m		0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	
掘削	平積 0.10m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>		7.17	0.78	16.91	3.94	22.85	51.65
管基礎	管基礎(BH0.10m <sup>3</sup> ) 砂基礎	m <sup>3</sup>	0.416 A区分高	1.91	0.06	4.29	0.88	4.85	11.99
埋戻	B区分 再生砂 平積 0.10m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>		4.50	0.39	10.93	2.08	14.06	31.96
残土	ダンプ運搬 4tダンプ(仮置)	m <sup>3</sup>	BH0.10m <sup>3</sup> 掘削	7.17	0.78	16.91	3.94	22.85	51.65
土留工	素堀工	m	1.5m未満	6.47	0.73	14.50	3.50		25.20
	アルミ矢板 L=2.0m, 1段梁	m	2.0m以下					13.20	13.20
	L=2.5m, 1段梁	m	"						
	L=2.5m, 2段梁	m	2.5m以下						
	L=3.0m, 2段梁	m	"						
	L=3.0m, 2段梁	m	3.0m以下						

## 土留種別数量表

種別	路線番号		私道1		私道2		私道3												合計	
			No.私道1-1	舗装境	No.私道2-1	舗装境	No.私道3-1													
	工種	単位	～ 舗装境	No.私道3-1	～ 舗装境	No.私道3-1	既設No.私道4-1													
掘削深1・5m以下	素掘り工	土留延長	m	6.47	0.73	14.50	3.50												25.20	
		機械掘削																		
		BH0.10m3	m3	7.17	0.78	16.91	3.94													28.80
		砂基礎																		
		BH0.10m3	m3	1.91	0.06	4.29	0.88													7.14
		管布設																		
		VUφ200	m	6.18	0.28	14.21	3.05													23.72
埋戻 (再生砂)	m3	4.50	0.39	10.93	2.08														17.90	
掘削深2・0m以下	アルミ矢板2・0m1段梁	土留延長	m				13.20												13.20	
		機械掘削																		
		BH0.10m3	m3				22.85													22.85
		砂基礎																		
		BH0.10m3	m3				4.85													4.85
		管布設																		
		VUφ200	m				12.69													12.69
埋戻 (再生砂)	m3				14.06														14.06	
掘削深2・0m以下	アルミ矢板2・5m1段梁	土留延長	m																	
		機械掘削																		
		BH0.10m3	m3																	
		砂基礎																		
		BH0.10m3	m3																	
		管布設																		
		VUφ200	m																	
埋戻 (再生砂)	m3																			
掘削深2・5m以下	アルミ矢板2・5m2段梁	土留延長	m																	
		機械掘削																		
		BH0.10m3	m3																	
		砂基礎																		
		BH0.10m3	m3																	
		管布設																		
		VUφ200	m																	
埋戻 (再生砂)	m3																			

マンホール工（楕円組立マンホール設置工集計表）

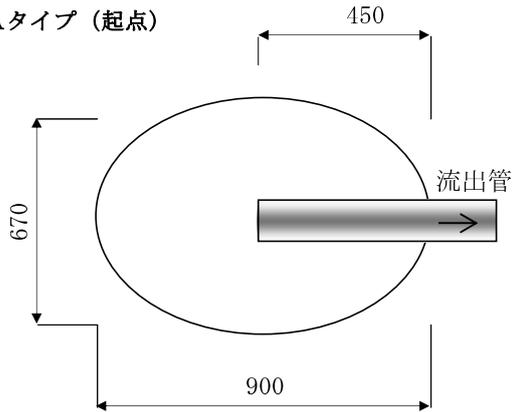
種 別		数 量	備 考	種 別		数 量	備 考
マンホール設置箇所数		1 箇所		軀 体 楕 円	670×900× 600	個	
平均マンホール深(H)		1.635	m/箇所		670×900× 900	1 個	
人 孔 設 置	2m以下	1 箇所					
	2m超～3m以下	箇所					
	3m超～5m以下	箇所					
鉄 蓋	T-25	組			底 版		
	T-14	1 組					
	転落防止用梯子	組		1100×880× 130		1 個	
	耐スリップ加工	組					
口 環 据 付 工	口環変形防止用金具	1 個	M16 L=250mm	削 孔	VU φ 150	箇所	
	無収縮モルタル	0.01 m3			VU φ 200	2 箇所	
	1,875kg/m3	19 kg			VP φ 200	箇所	
調 整 リ ン グ	600×100	個		底 部	インバート有り	1 箇所	
	600×150	1 個			インバート打換	箇所	既設
斜 壁 楕 円	600×670-900×450	個		工	再生切込碎石	0.16 m3	
	600×670-900×600	1 個			インバートコンクリート	0.12 m3	
直 壁 楕 円	670×900× 300	個			モルタル上塗り	0.64 m2	
	670×900× 600	個					
	670×900× 900	個					

### 楕円組立マンホール計算書

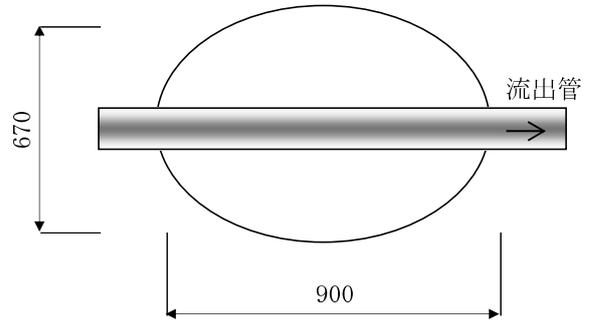
マンホール 番号	マンホール 深	流出管		流入管				副管				調整 高	底 版 P	軀 体				直 壁				斜壁		調 整 リ ン グ		口 環 工	鉄 蓋				削 孔						
		管径/管底高	管種	管径	管種	管底高	落差	管径	管種	落差	種別			60	90	30	60	90	45	60	10	15	T 25	T 14	梯 子		耐 滑	150	200	200							
単 位	m	mm/m		mm		m	mm		mm		mm	ケ	ケ	ケ		ケ	ケ	ケ		ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	組	組	組	組	箇所	箇所	箇所			
インバート施工 No. 私道3-1	1.635	200 19.105	VU	200 200	VU VU	19.434 19.290	329 185					35	1	1						1				1		1		1					2				
マンホール設置工		平均深H=		インバート工： 有				1 箇所																													
H≤2m	1	箇所		インバート工： 打換				箇所				合計	35	1	1						1					1										2	
H≤3m		箇所	1.635																																		
H≤5m		箇所	m/箇所																																		

## インバート工調書（楕円マンホール）

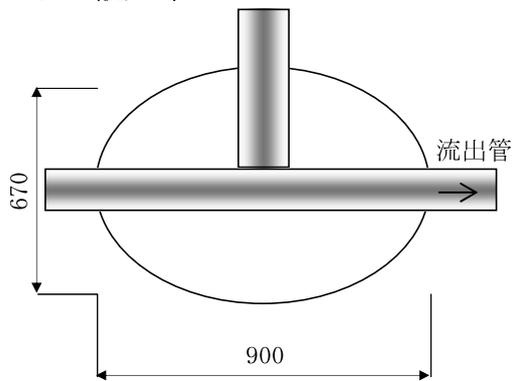
Aタイプ（起点）



Bタイプ（流入-1）



Cタイプ（流入-2）



工 種	算 出 根 拠	定 数 値
インバートコンクリート工 18N/mm <sup>2</sup>		標準管径 200
	$\{0.67^2 \times \pi / 4 + (0.90 - 0.67) \times 0.67\}$	
	$\times \{(0.16 + 0.18) / 2 + 0.20 / 2\} = 0.137\text{m}^3$	
Aタイプ（起点）	$0.137\text{m}^3 - 0.20^2 \times \pi / 4 \times 1/2 \times 0.45\text{m} =$	0.130 m <sup>3</sup> /箇所
Bタイプ（流入-1）	$0.137\text{m}^3 - 0.20^2 \times \pi / 4 \times 1/2 \times 0.90\text{m} =$	0.123 m <sup>3</sup> /箇所
Cタイプ（流入-2）	$0.137\text{m}^3 - 0.20^2 \times \pi / 4 \times 1/2 \times (0.90 + 0.24)\text{m} =$	0.119 m <sup>3</sup> /箇所
モルタル上塗り工 配合 1:2		
	$0.67^2 \times \pi / 4 + (0.90 - 0.67) \times 0.67 = 0.507\text{m}^2$	
Aタイプ（起点）	$0.507\text{m}^2 - 0.20 \times 0.45\text{m} + 0.20 \times \pi \times 1/2 \times 0.45\text{m} =$	0.558 m <sup>2</sup> /箇所
Bタイプ（流入-1）	$0.507\text{m}^2 - 0.20 \times 0.90\text{m} + 0.20 \times \pi \times 1/2 \times 0.90\text{m} =$	0.610 m <sup>2</sup> /箇所
Cタイプ（流入-2）	$0.507\text{m}^2 - 0.20 \times 1.14\text{m} + 0.20 \times \pi \times 1/2 \times 1.14\text{m} =$	0.637 m <sup>2</sup> /箇所

底部工（楢円マンホール）調書		
工種	算出根拠	数量
マンホール設置箇所		1 箇所
無収縮モルタル 超早強モルタル	総調整高 35 mm = 0.035 m	
	$(0.82^2 - 0.60^2) \times \pi/4 \times 0.035 =$	0.01 m <sup>3</sup>
砕石基礎工 RC-40 t=20cm	$\{0.88^2 \times \pi/4 + 0.88 \times (1.11 - 0.88)\} \times 0.20 = 0.162\text{m}^2/\text{箇所}$	
	0.162m <sup>2</sup> × 1箇所 =	0.16 m <sup>3</sup>
インバート打設箇所	Aタイプ（起点） 0 箇所	1 箇所
	Bタイプ（流入-1） 0 箇所	
	Cタイプ（流入-2） 1 箇所	
	※既設打換えは、インバート1/2箇所,モルタル上塗り1箇所計上とする。	
インバートコンクリート工 18N/mm <sup>2</sup>	Aタイプ（起点） 0.130m <sup>3</sup> /箇所 × 0.0箇所 =	0.000 m <sup>3</sup>
	Bタイプ（流入-1） 0.123m <sup>3</sup> /箇所 × 0.0箇所 =	0.000 m <sup>3</sup>
	Cタイプ（流入-2） 0.119m <sup>3</sup> /箇所 × 1.0箇所 =	0.119 m <sup>3</sup>
	計 0.119 m <sup>3</sup>	0.12 m <sup>3</sup>
モルタル上塗り 配合 1:2	Aタイプ（起点） 0.558m <sup>2</sup> /箇所 × 0箇所 =	0.000 m <sup>2</sup>
	Bタイプ（流入-1） 0.610m <sup>2</sup> /箇所 × 0箇所 =	0.000 m <sup>2</sup>
	Cタイプ（流入-2） 0.637m <sup>2</sup> /箇所 × 1箇所 =	0.637 m <sup>2</sup>
	計 0.637 m <sup>2</sup>	0.64 m <sup>2</sup>

## 塩ビ小型マンホール設置工集計表

種 別		数 量	備 考	種 別		数 量	備 考
マンホール設置箇所数		2 箇所		立 上 管  φ 3 0 0 × L	L= 0.8m	個	
平均マンホール深		1.250	m/箇所		L= 1.0m	個	
人 孔 設 置	起点・中間点 H<2.00m	2 箇所			L= 1.2m	個	
	H≥2.00m	箇所			L= 1.4m	個	
	合流点・落差点 H<2.00m	箇所			L= 1.6m	個	
	H≥2.00m	箇所			L= 1.8m	個	
人 孔 蓋	T25	組					
	T14	2 組					
	台座リング	2 組					
	塩ビ製 内蓋	2 個					
インバートφ300 流出入管径φ200							
起 点 ・ 中 間	起点	2 個		マ ル チ  立 上 高  φ 3 0 0 × L	L= 0.8m	個	
	中間(ストレート)	個			L= 1.0m	個	
屈 曲 点	15° 曲り	個			L= 1.2m	2 個	
	30° 曲り	個			L= 1.4m	個	
	45° 曲り	個			L= 1.6m	個	
	60° 曲り	個			L= 1.8m	個	
	75° 曲り	個					
	90° 曲り	個			支管取付工	箇所	VUφ200
合 流 点	45° 曲り	個			支管取付工	4 箇所	VUφ150
	60° 曲り	個					



## 取付管工(開削)集計表

名 称		単位	本管開削	本管開削	本管開削			合計
			私道舗装道	砂利道	未舗装			
取付管箇所数(VUφ150)		箇所	2	3	4			9
本管取付		箇所	2	1	2			5
人孔取付		箇所		2	2			4
平均取付管長 (水平距離) 直管長/箇所		m	2.25	1.52	1.39			1.62
取 付 管 布 設	取付管布設	m	5.44	4.83	6.32			16.6
	VUφ150 プレソント <sup>®</sup> 直管	m	5.44	4.83	6.32			16.6
	〃 90°自在支管	個	2	3	4			9
	〃 自在曲管	個	2	1	2			5
	〃 下水キャップ	個	2	3	4			9
	〃 可とう継手	個						
土 工	機械掘削 バックホウ0.10m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	1.93	1.94	2.21			6.1
	A区分埋戻 再生砂	m <sup>3</sup>	0.56	0.46	0.54			
	B区分埋戻 再生砂	m <sup>3</sup>	0.76	1.25	1.41			5.0
	発生土処理	m <sup>3</sup>	1.93	1.94	2.04			5.9
土留工 アルミ矢板 L=2.0m 1段梁	m	—	—	—				
舗装切断工 As 15cm以下	m	7.00	—	—			7.00	
濁水運搬処理工	m <sup>3</sup>	0.009	—	—			0.009	
舗装版破碎工 As 15cm以下	m <sup>2</sup>	2.10	—	—			2.10	
廃材処理工 As	m <sup>3</sup>	0.11	—	—			0.11	
道路復旧工 私道舗装道 30cm(As-3cm)	m <sup>2</sup>	2.10	—	—			2.10	
砂利道 RM-30-10cm	m <sup>2</sup>	—	1.48	—			1.48	
砂利道 発生土-10cm	m <sup>2</sup>	—	—	1.66			1.66	
発生土埋戻	m <sup>3</sup>	—	—	0.17			0.17	

**取付管工 平均占用距離及び平均土被り算出表（私道舗装道）**

路線番号	人孔番号	取付箇所数(下流向い)				占用距離				本管土被り		本管 掘削幅		障害物（側溝等）								
	上流側	本管接続		人孔接続		本管占用距離		合計延長		上流 平均	合計延長	掘削幅		合計延長	延長	合計延長		深	合計延長			
	下流側	左	右	左	右	左	右	左	右			左	右			左	右		左	右	左	右
私道2	私道2-1																					
	私道3-1		1			0.70		0.70		1.04	1.14	1.14	0.80	0.80								
私道4	私道4-1																					
	舗装境			1			3.20		3.20	1.50	1.50	1.50										
小計			1	1				0.70	3.20		1.14	1.50		0.80								
合計				2					3.90			2.64		0.80								

取付管箇所数	2 + 0	=	2 (箇所)
加重平均占用距離	3.90m ÷ 2箇所	=	1.95 (m)
加重平均土被り	2.64m ÷ 2箇所	=	1.32 (m)
加重平均掘削幅	0.80m ÷ 2箇所	=	0.40 (m)
加重平均側溝幅	0.00m ÷ 2箇所	=	(m)
加重平均側溝深	0.00m ÷ 2箇所	=	(m)

取付管工 平均占用距離及び平均土被り算出表 (砂利道)

路線番号	人孔番号	取付箇所数(下流向い)				占用距離				本管土被り			本管 掘削幅			障害物 (側溝等)						
	上流側	本管接続		人孔接続		本管占用距離		合計延長		上流	平均	合計延長		掘削幅	合計延長	延長	合計延長		深	合計延長		
	下流側	左	右	左	右	左	右	左	右			左	右				左	右		左	右	左
私道1	私道1-1																					
	私道3-1		1	2		1.56	0.55	3.12	0.55	1.04	1.07	2.14	1.07	0.80	1.60	0.80						
小計			1	2				3.12	0.55			2.14	1.07		1.60	0.80						
合計			1	2				3.67				3.21			2.40							

取付管箇所数	1 + 2	=	3 (箇所)
加重平均占用距離	3.67m ÷ 3箇所	=	1.22 (m)
加重平均土被り	3.21m ÷ 3箇所	=	1.07 (m)
加重平均掘削幅	2.40m ÷ 3箇所	=	0.80 (m)
加重平均側溝幅	0.00m ÷ 3箇所	=	(m)
加重平均側溝深	0.00m ÷ 3箇所	=	(m)

取付管工 平均占用距離及び平均土被り算出表（未舗装）

路線番号	人孔番号	取付箇所数(下流向い)				占用距離				本管土被り		本管 掘削幅		障害物（側溝等）						
	上流側	本管接続		人孔接続		本管占用距離		合計延長		上流 下流	平均	合計延長		延長	合計延長		深	合計延長		
	下流側	左	右	左	右	左	右	左	右			左	右		左	右		左	右	
私道2	私道2-1																			
	私道3-1	1	1	1	1	0.50	1.67	1.00	3.34	1.04	1.24	1.14	2.28	2.28	0.80	1.60	1.60			
小計		1	1	1	1			1.00	3.34			2.28	2.28		1.60	1.60				
合計		2		2				4.34				4.56			3.20					

取付管箇所数	2 + 2	=	4 (箇所)
加重平均占用距離	4.34m ÷ 4箇所	=	1.09 (m)
加重平均土被り	4.56m ÷ 4箇所	=	1.14 (m)
加重平均掘削幅	3.20m ÷ 4箇所	=	0.80 (m)
加重平均側溝幅	0.00m ÷ 4箇所	=	(m)
加重平均側溝深	0.00m ÷ 4箇所	=	(m)



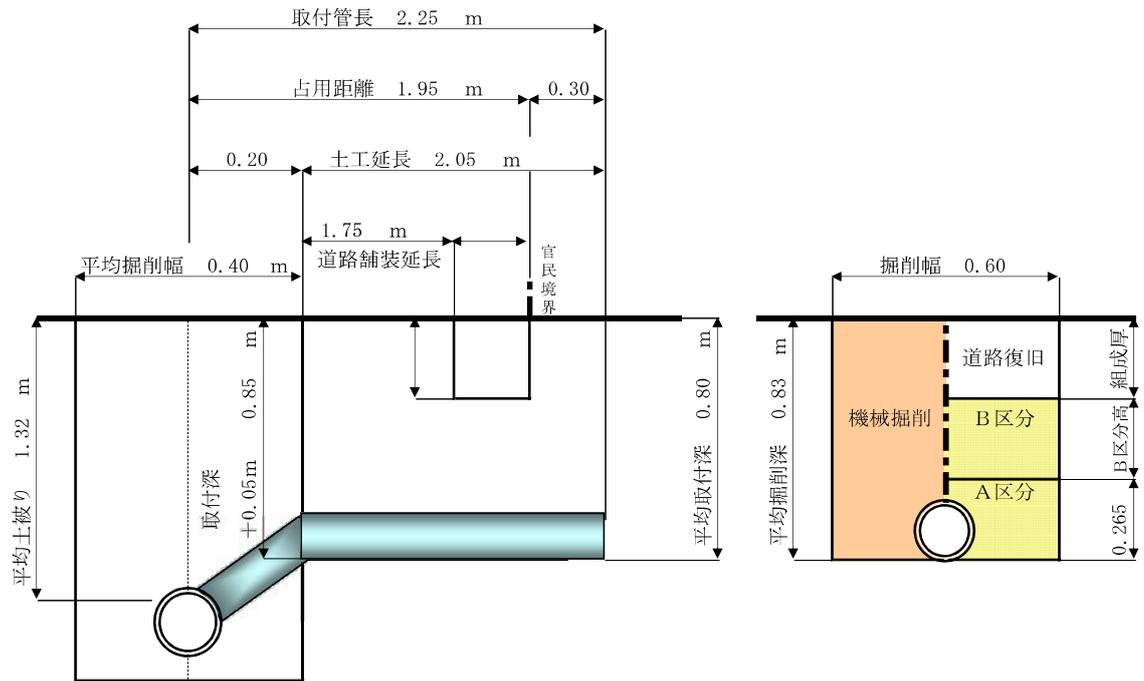




取付管工 (VUφ150 本管VUφ200) 私道舗装道

1/2

略  
図



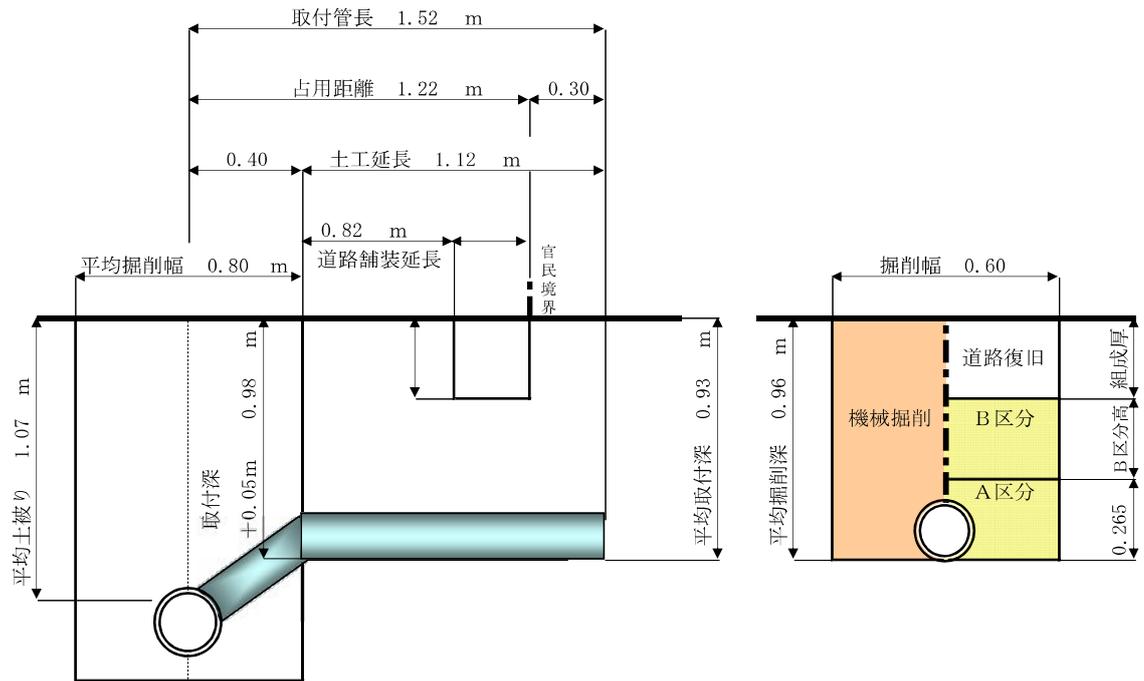
工 種	算 出 根 拠	数 量
取付管箇所数	総取付箇所数	2 箇所
	内本管取付	2 箇所
	内人孔取付	箇所
取付管布設延長 プレート直管	VUφ150 占用距離+0.30m=(水平距離) 2.25 m	
	VUφ150 平均落差 1.32m-0.85m= 0.47 m	
	VUφ150 2.25+0.47= 2.72 m/箇所 × 2箇所 =	5.44 m
自在支管	VUφ150 (本管取付箇所数+塩ビ小型マンホール取付箇所数)	2 個
自在曲管	VUφ150 (本管取付箇所数)	2 個
下水キャップ	VUφ150 (全体取付箇所数)	2 個
可とう継手	VUφ150 (人孔取付箇所数) 小型塩ビマンホールは除く	個
	掘削幅 0.60 m 掘削深 0.83 m 掘削延長 2.05 m	
機械掘削	全体 0.60 × 0.83 × 2.05 × 2箇所 =	2.04 m <sup>3</sup>

取付管工 (VUφ150 本管VUφ200) 私道舗装道			2/2
工 種	算 出 根 拠	数 量	
	側溝減 $0.60 \times 0.00 \times 0.00 \times 2$ 箇所 =	m <sup>3</sup>	
	舗装減 ガラ処分より	-0.11 m <sup>3</sup>	1.93 m <sup>3</sup>
A区分埋戻し (再生砂)	$(0.60 \times 0.265 - 0.165^2 \times \pi/4) \times 2.05 \times 2$ 箇所 =		0.56 m <sup>3</sup>
道路舗装延長	略図より	1.75 m	
B区分埋戻し (再生砂)	埋戻高 $0.83 - 0.265 =$	0.565 m	
	全体 $0.60 \times 0.565 \times 2.05 \times 2$ 箇所 =	1.39 m <sup>3</sup>	
	側溝減 $0.60 \times 0.00 \times 0.00 \times 2$ 箇所 =	m <sup>3</sup>	
	道路復旧減	-0.63 m <sup>3</sup>	0.76 m <sup>3</sup>
発生土処理	掘削土量		1.93 m <sup>3</sup>
土 留 工	平均土留深 0.00m		
	土留工適用なし		— m
舗装切断 As 15cm以下	$1.75 \times 2$ 側 $\times 2$ 箇所 =		7.00 m
濁水運搬処理 As 5cm	$7.00 \times 0.130$ m <sup>3</sup> /100m =		0.009 m <sup>3</sup>
舗装版破碎 As 15cm以下	$0.60 \times 1.75 \times 2$ 箇所 =		2.10 m <sup>2</sup>
ガラ廃材処理 アスファルト 5cm	$2.10 \times 0.05 =$		0.11 m <sup>3</sup>
道路復旧			
As舗装部 30cm(As 3cm)	$0.60 \times 1.75 \times 2$ 箇所 =		2.10 m <sup>2</sup>
	道路控除量 $2.10 \times 0.30 =$	0.63 m <sup>3</sup>	

取付管工 (VUφ150 本管VUφ200) 砂利道

1/2

略  
図



工 種	算 出 根 拠	数 量
取付管箇所数	総取付箇所数	3 箇所
	内本管取付	1 箇所
	内人孔取付	2 箇所
取付管布設延長 プレート直管	VUφ150 占有距離+0.30m=(水平距離) 1.52 m	
	VUφ150 平均落差 1.07m-0.98m= 0.09 m	
	VUφ150 1.52+0.09= 1.61 m/箇所 × 3箇所 =	4.83 m
自在支管	VUφ150 (本管取付箇所数+塩ビ小型マンホール取付箇所数)	3 個
自在曲管	VUφ150 (本管取付箇所数)	1 個
下水キャップ	VUφ150 (全体取付箇所数)	3 個
可とう継手	VUφ150 (人孔取付箇所数) 小型塩ビマンホールは除く	個
	掘削幅 0.60 m 掘削深 0.96 m 掘削延長 1.12 m	
機械掘削	全体 0.60 × 0.96 × 1.12 × 3箇所 =	1.94 m <sup>3</sup>

取付管工 (VUφ150 本管VUφ200) 砂利道

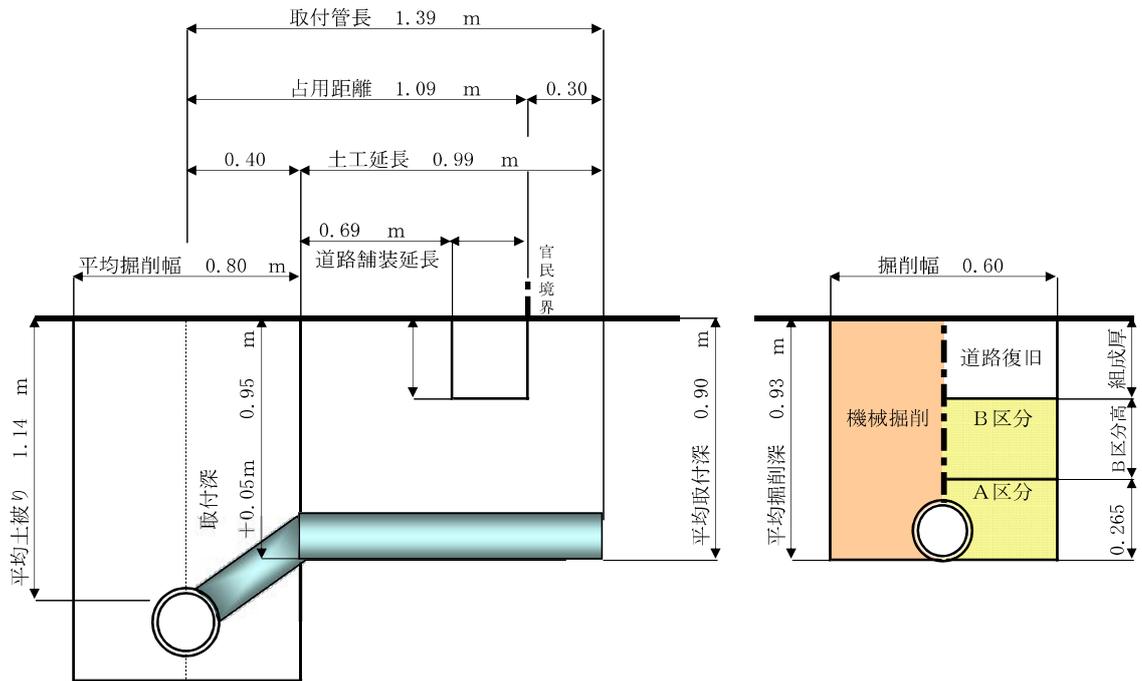
2/2

工 種	算 出 根 拠	数 量
	側溝減 $0.60 \times 0.00 \times 0.00 \times 3 \text{箇所} =$ m3	
	舗装減 ガラ処分より m3	1.94 m3
A区分埋戻し (再生砂)	$(0.60 \times 0.265 - 0.165^2 \times \pi/4) \times 1.12 \times 3 \text{箇所} =$	0.46 m3
道路舗装延長	略図より 0.82 m	
B区分埋戻し (再生砂)	埋戻高 $0.96 - 0.265 =$ 0.695 m	
	全体 $0.60 \times 0.695 \times 1.12 \times 3 \text{箇所} =$ 1.40 m3	
	側溝減 $0.60 \times 0.00 \times 0.00 \times 3 \text{箇所} =$ m3	
	道路復旧減 -0.15 m3	1.25 m3
発生土処理	掘削土量	1.94 m3
土留工	平均土留深 0.00m	
	土留工適用なし	— m
道路復旧 表層部 (RM-30) 10cm	$0.60 \times 0.82 \times 3 \text{箇所} =$	1.48 m2
	道路控除量 $1.48 \times 0.10 =$ 0.15 m3	

取付管工 (VUφ150 本管VUφ200) 未舗装

1/2

略  
図



工 種	算 出 根 拠	数 量
取付管箇所数	総取付箇所数	4 箇所
	内本管取付	2 箇所
	内人孔取付	2 箇所
取付管布設延長 プレート直管	VUφ150 占用距離+0.30m=(水平距離)	1.39 m
	VUφ150 平均落差 1.14m-0.95m=	0.19 m
	VUφ150 1.39+0.19= 1.58 m/箇所 × 4箇所 =	6.32 m
自在支管	VUφ150 (本管取付箇所数+塩ビ小型マンホール取付箇所数)	4 個
自在曲管	VUφ150 (本管取付箇所数)	2 個
下水キャップ	VUφ150 (全体取付箇所数)	4 個
可とう継手	VUφ150 (人孔取付箇所数) 小型塩ビマンホールは除く	個
	掘削幅 0.60 m 掘削深 0.93 m 掘削延長 0.99 m	
機械掘削	全体 0.60 × 0.93 × 0.99 × 4箇所 =	2.21 m <sup>3</sup>

取付管工 (VUφ150 本管VUφ200) 未舗装

2/2

工 種	算 出 根 拠	数 量
	側溝減 $0.60 \times 0.00 \times 0.00 \times 4$ 箇所 = m3	
	舗装減 ガラ処分より m3	2.21 m3
A区分埋戻し (再生砂)	$(0.60 \times 0.265 - 0.165^2 \times \pi/4) \times 0.99 \times 4$ 箇所 =	0.54 m3
道路舗装延長	略図より 0.69 m	
B区分埋戻し (再生砂)	埋戻高 $0.93 - 0.265 =$ 0.665 m	
	全体 $0.60 \times 0.665 \times 0.99 \times 4$ 箇所 = 1.58 m3	
	側溝減 $0.60 \times 0.00 \times 0.00 \times 4$ 箇所 = m3	
	道路復旧減 -0.17 m3	1.41 m3
発生土処理	掘削土量 - 道路控除量	2.04 m3
土 留 工	平均土留深 0.00m	
	土留工適用なし	— m
道路復旧 表層部(発生土) 10cm	$0.60 \times 0.69 \times 4$ 箇所 =	1.66 m2
	道路控除量 $1.66 \times 0.10 =$ 0.17 m3	

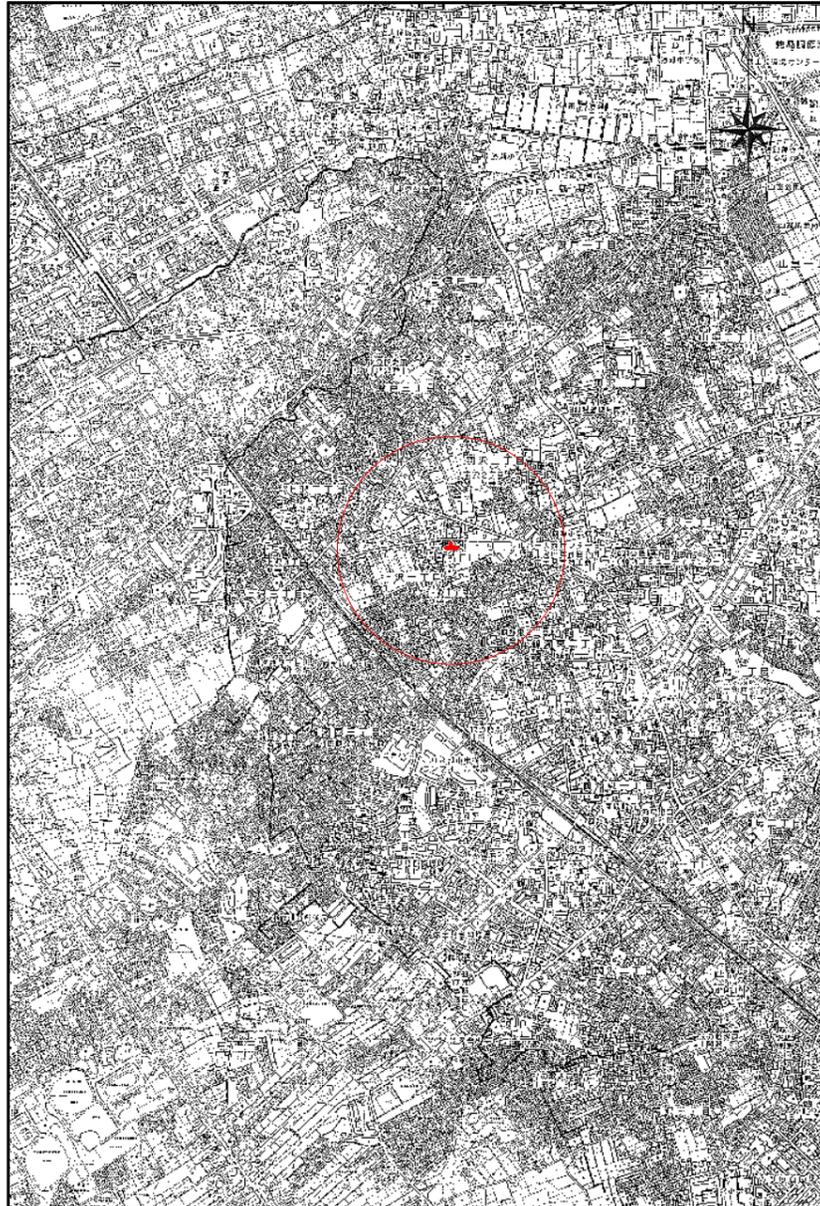


## 舗装復旧工調書

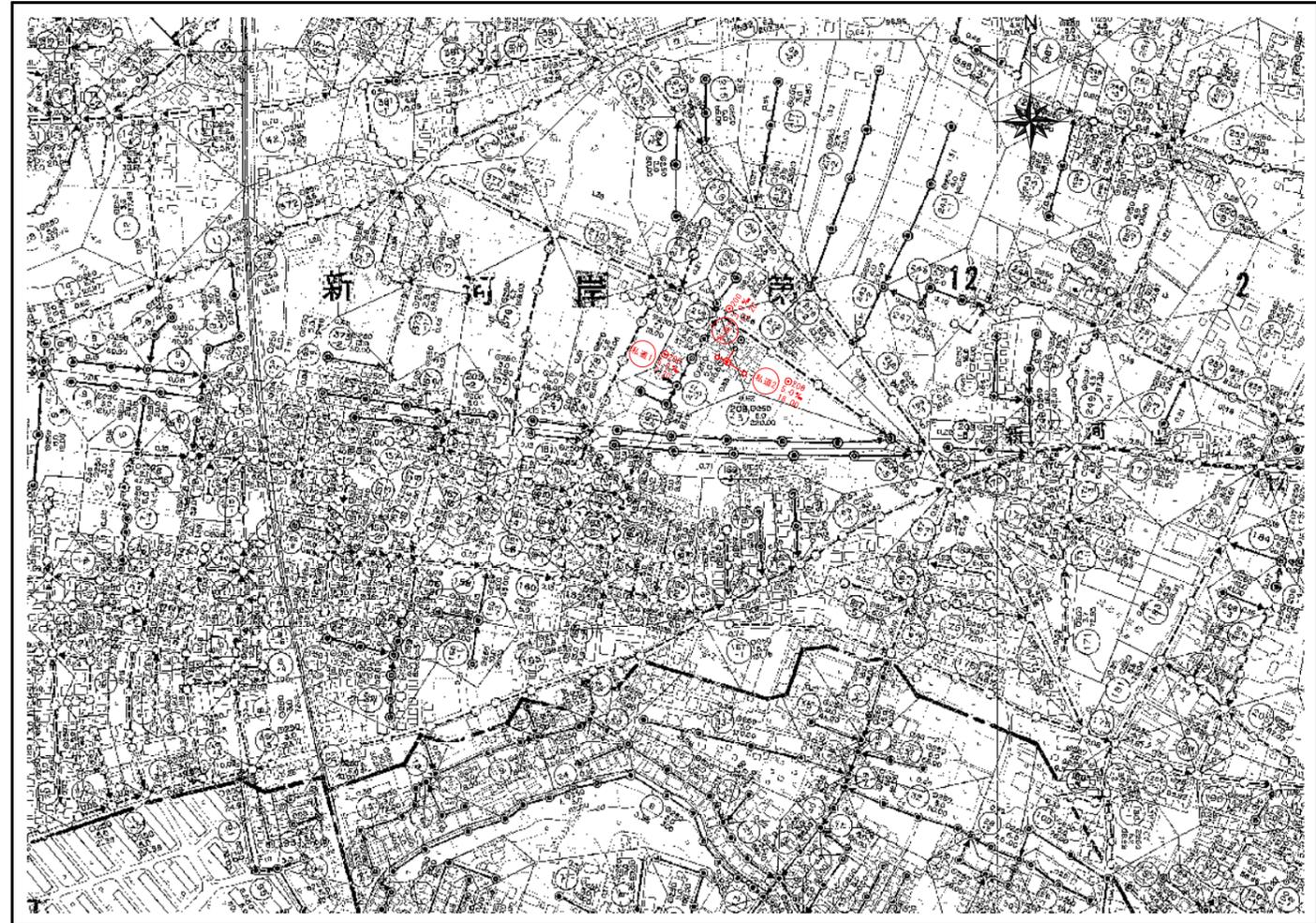
路線番号		単位	定数値	私道1		私道2		私道3		合計
測点				No.私道1-1 舗装境	舗装境 No.私道3-1	No.私道2-1 舗装境	舗装境 No.私道3-1	No.私道3-1 既設No.私道4-1		
路線延長		m		6.47	0.73	14.50	3.50	13.20		38.40
掘削減長	上流	m								
	下流									
掘削延長		m		6.47	0.73	14.50	3.50	13.20		38.40
道路形態				砂利道	私道舗装道	未舗装	私道舗装道	私道舗装道		
掘削幅		m		0.80	0.80	0.80	0.80	1.00		
舗装厚(現況)		m			0.05		0.05	0.05		
路盤厚		m			0.25		0.25	0.25		
道路復旧高		m			0.30		0.30	0.30		
発生土復旧厚		m								
舗装切断	アスファルト 15cm以下	m			1.46		7.00	26.40		34.86
	35cm以下	m								
濁水処理	アスファルト t=5cm	m3	0.130 m3/100m		0.002		0.009	0.034		
	t=3cm	m3	0.078 m3/100m							0.045
舗装版破砕	アスファルト 15cm以下	m2			0.58		2.80	13.20		16.58
	40cm以下	m2								
搬運搬処理	アスファルト	m3			0.03		0.14	0.66		0.83
	コンクリート	m3								
道路復旧	私道舗装道		1							
	表層 As-3cm	m2			0.58		2.80	13.20		16.58
	路盤-27cm	m2			0.58		2.80	13.20		16.58
	砂利道		2							
	表層-10cm	m2		5.18						5.18
	未舗装		3							
	表層-10cm	m2				11.60				11.60
	発生土埋戻	m3				1.16				1.16



案内図 縮尺 1/10000



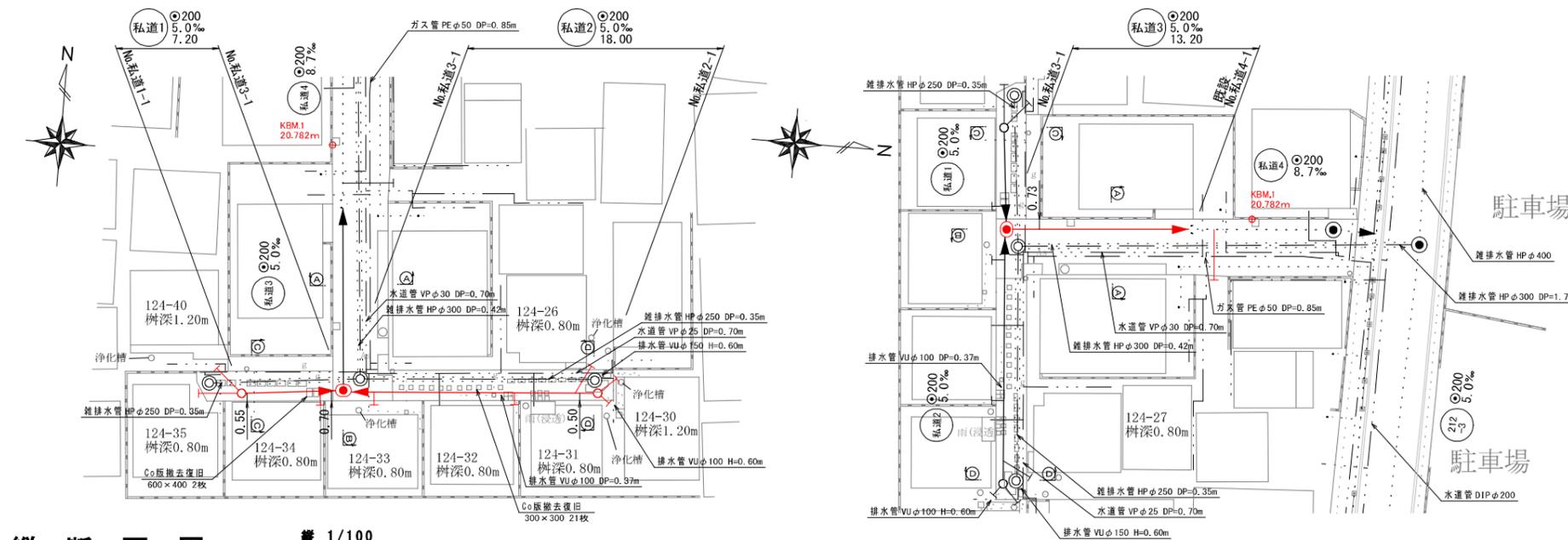
系統図 縮尺 1/2500



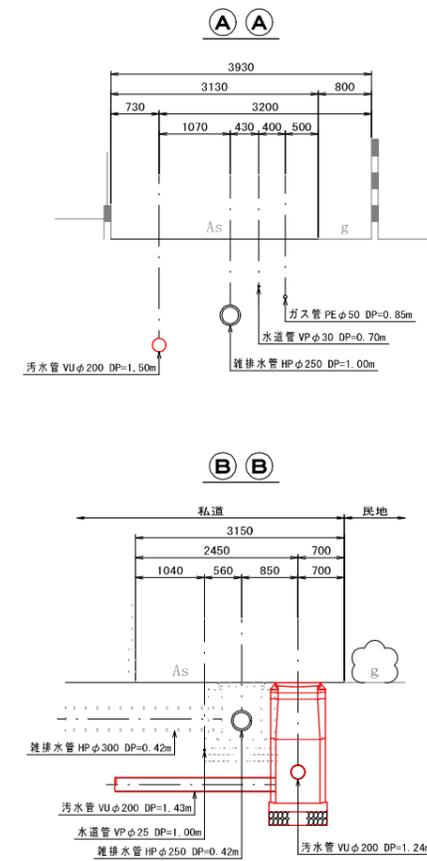
凡 例	
	実施路線
	計画路線
	既設路線
	管番号 管径 勾配延長
	2号マンホール
	1号マンホール
	0号マンホール
	橋円マンホール
	小型マンホール
	既設マンホール

工事名	令和7年度 新河岸第12-2-1汚水管渠築造工事		
処理分区名	新河岸12-2-1処理分区		
工事箇所	富士見市 上沢1丁目 地内 私道		
図面名	案内図・系統図		
縮尺	図示	図面 番号	1/4
富士見市建設部下水道課			

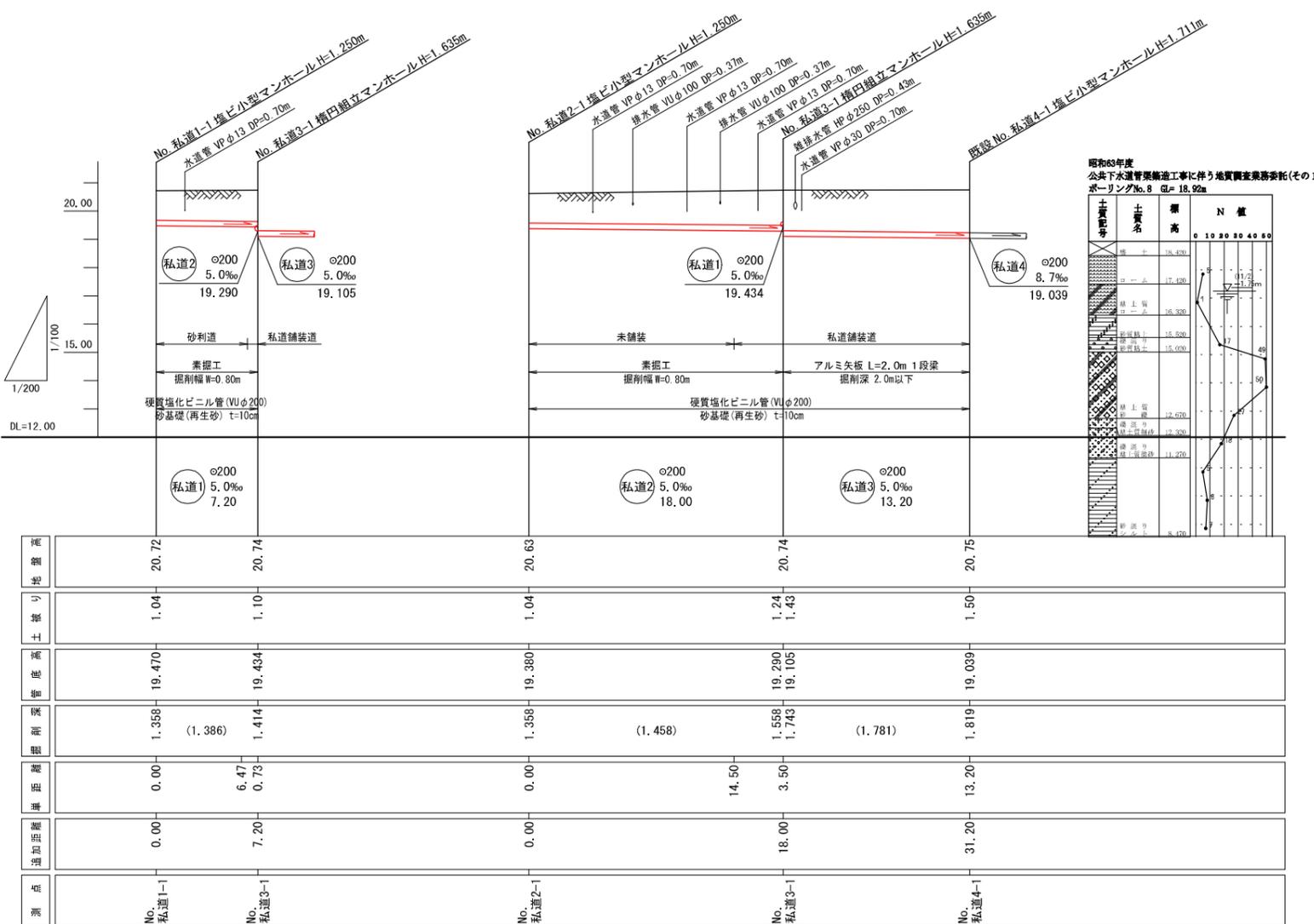
平面図 縮尺 1/200



横断面図 縮尺 1/50



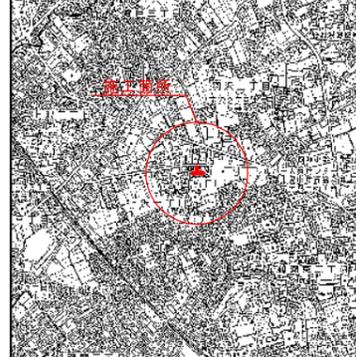
縦断面図 縮尺 縦 1/100 横 1/200



昭和63年度  
公共下水道管渠築造工事に伴う地質調査業務委託(その1)  
ボーリングNo.8 GL=18.92m

土質記号	土層名	層高	N値
10	埋戻土	18.420	1
11	埋戻土	17.680	1
12	埋戻土	16.300	1
13	埋戻土	15.500	1
14	埋戻土	15.000	1
15	埋戻土	14.300	1
16	埋戻土	13.200	1
17	埋戻土	12.200	1
18	埋戻土	11.200	1
19	埋戻土	9.400	1

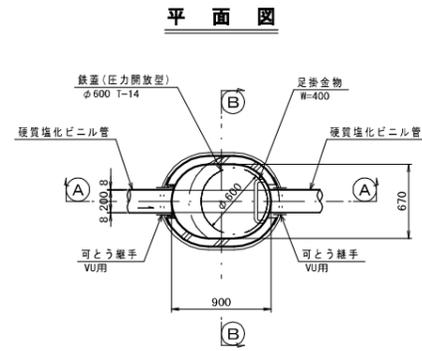
案内図 縮尺=1:10000



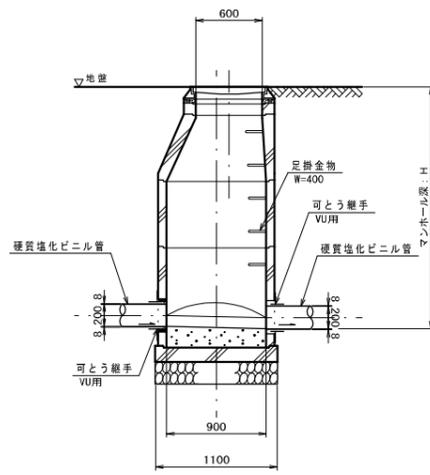
私道1 私道2 私道3

工事名	令和7年度 新河岸12-2-1汚水管渠築造工事		
処理区分名	新河岸12-2-1処理区分		
工事箇所	富士見市 上沢1丁目 地内 私道		
図面名	平面図・縦断面図・横断面図		
縮尺	図示	図面 番号	2/4

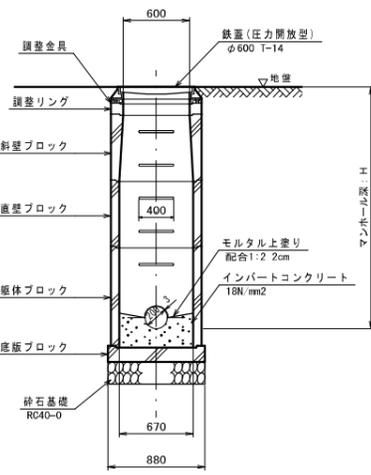
楕円組立マンホール標準構造図 S=1/30



断面図 (A-A)

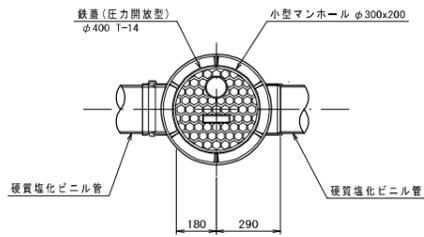


断面図 (B-B)

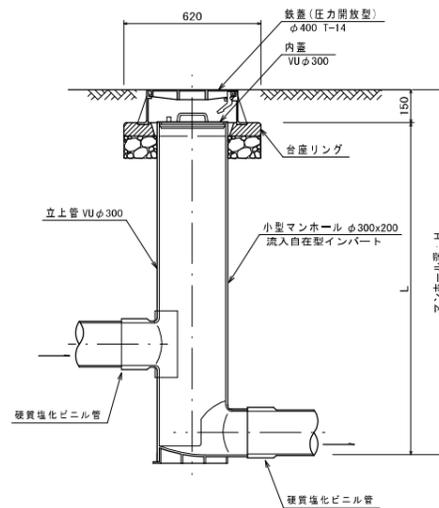


塩ビ小型マンホール標準構造図 S=1/15

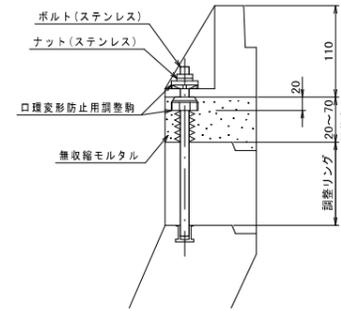
平面図



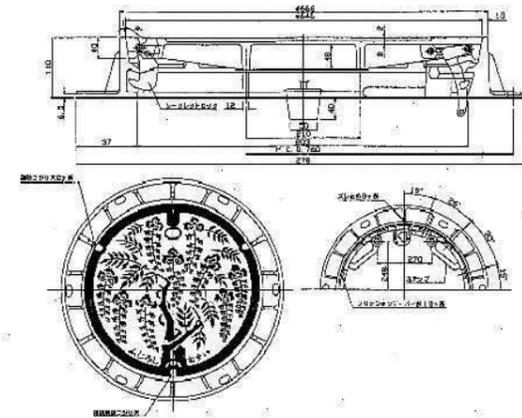
断面図  
流入自在型



口環変形防止用調整金具図 S=1/5



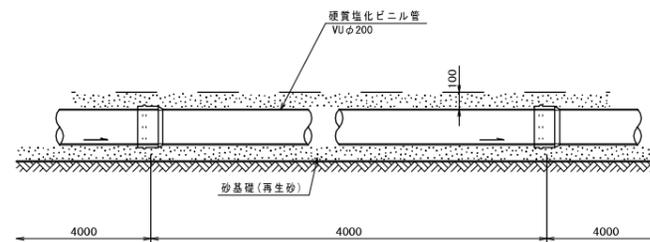
マンホール蓋構造図 縮尺 FREE



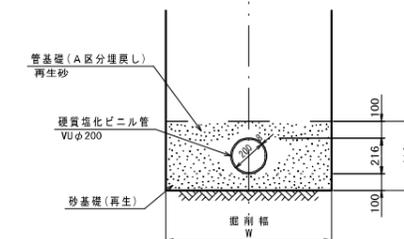
管布設工標準図 S=1/20

本管 (硬質塩化ビニル管VUφ200)

縦断面図

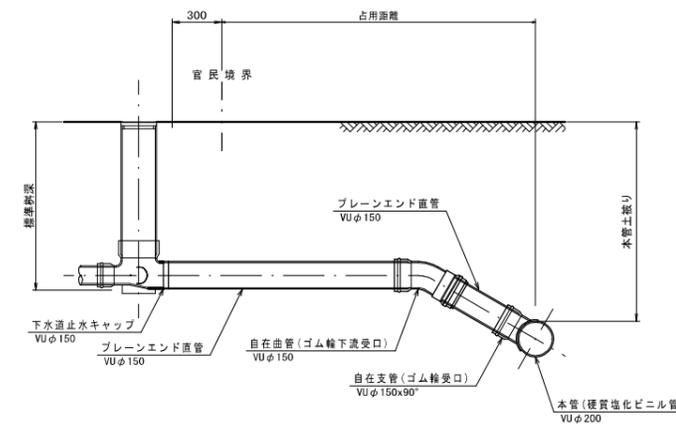


横断面図



取付管工標準構造図 S=1/20

本管開削 (VU管)

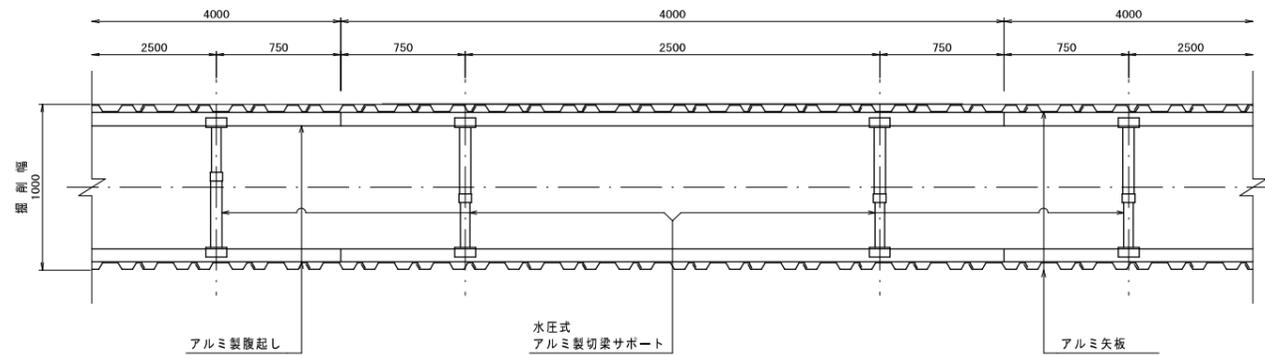


工事名	令和7年度 新河岸第12-2-1污水管渠築造工事
処理区分名	新河岸12-2-1処理区分
工事箇所	富士見市 上沢1丁目 地内 私道
図面名	標準構造図
縮尺	図示 図面 番号 3/4

山留工標準構造図(参考) S=1/20

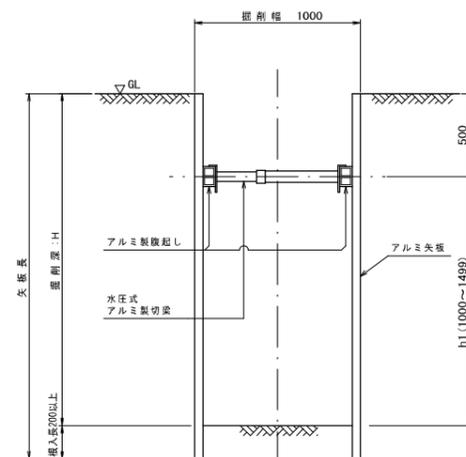
アルミ矢板建込工  
(軽量金属支保工)

平面図



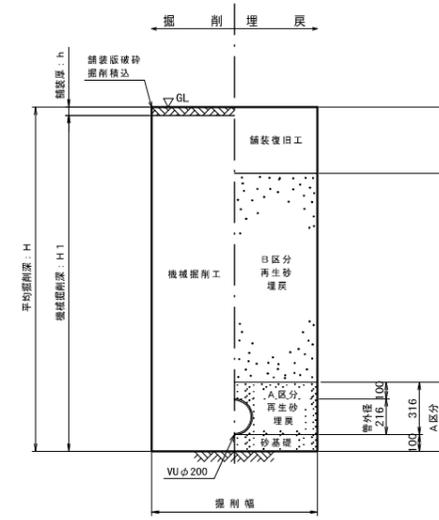
断面図

掘削深  
1.5m以上2.0m未満

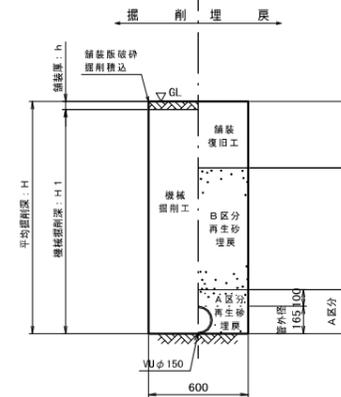


土工事作業区分図 S=1/20

本管市道部分

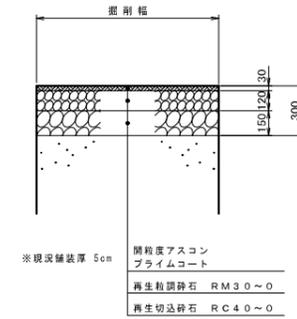


取付管部分

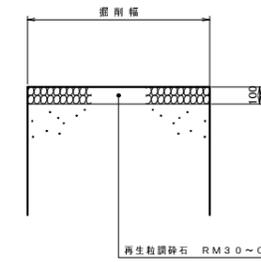


道路復旧組成図 S=1/20

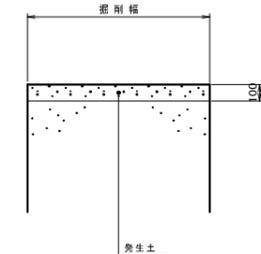
私道 仮復旧



砂利道 仮復旧



未舗装部 仮復旧



工事名	令和7年度 新河岸12-2-1汚水管渠築造工事		
処理区分名	新河岸12-2-1処理区分		
工事箇所	富士見市 上沢1丁目 地内 私道		
図面名	土工・土留工標準図・道路復旧組成図		
縮尺	図示	図番	4/4

## 舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

(趣 旨)

第1条 この特記仕様書は、埼玉県土木工事共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水(以下「濁水」という。)の処理に関し必要な事項を定めるものである。

(適 用)

第2条 この特記仕様書は、次の工事に適用するものとする。

- ・工事名 新河岸第12-2-1污水管渠築造工事
- ・工事箇所 富士見市上沢1丁目地内 私道

(濁水の処理)

第3条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。

- ・種類及び処理量 汚泥(油分を含む汚泥) 0.05m<sup>3</sup>
- ・中間処理施設 川越市下赤坂1811-1 (株)山一商事
- ・処理方法 中間処理後、最終処分場に搬入(処理に焼却又は溶融を含まず)

2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

(共通事項)

第4条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。

- 2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。
- 3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。
- 4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。)により管理するものとする。

(提出書類等)

第5条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第4条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。

2 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。

(その他)

第6条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。

- 2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合には、事前に監督員と協議するものとする。
- 3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。